

令和元年度

小樽地区の巻

事務局 小樽市立稲穂小学校

小樽市小学校長会は、市内18校の校長で組織されている。今年度は、転入2名、採用2名の新会員を迎え、4月9日に総会を開催し、活動方針や予算を決定するとともに、新年度の役員を選出した。



I 本年度の活動方針

本会は、小樽市学校教育推進計画の基本理念である「心豊かに学び、ふるさとに夢と誇りをもち、たくましく生きる小樽の子どもの育成」の実現をめざすため、校長としての使命と責任の重要性を自覚し、職能の向上に努めるとともに、小樽市民の付託と家庭・地域の信頼に応えることのできる小学校教育の推進並びに小樽市の教育振興に寄与することをめざして活動している。

これまで本会は、年度の重点施策と小樽市校長会として掲げる共通目標の実現を活動の中心に据えながら、組織的に取組を進め、成果を上げてきた。

とりわけ、外国語活動の実施に関わる教育課程の編成については、昨年度、市内の全小学校が足並みをそろえ、3・4年生で年間35時間、5・6年生で年間70時間を実施することができた。

今後も、われわれは、強い使命感をもち、指導力を発揮して、授業改善と望ましい学習・生活習慣の確立を両輪とする取組を通して本市教育の抱える喫緊の課題である学力の向上と児童の生活習慣の改善に努めなければならない。

そのために、後志教育局や小樽市教育委員会等、教育関係機関との連携を深め、課題の本質を的確に捉え、会員への適切な情報提供と相互の意見交換等を大切にしながら、会員が一丸となって同じ方向性をもって課題に対応していくことができるよう組織的な校長会の運営に努めていかななくてはならない。

小樽市小学校長会は、今年度も重点施策を中心に据え、複雑化・多様化する教育課題に対して、校長自ら研鑽に励み、全教職員が協働して組織的に対応できる体制を整備し、活力に満ちた学校づくりを進めるとともに、新学習指導要領の完全実施に向けた準備やコミュニティ・スクール導入に向けた取組を進めるなど、新たな課題とも向き合い、その解決に向けて校長の英知を結集して取り組んでいく。

また、本会と小樽市中学校長会で構成する『小樽市校長会』においては、小樽市教育委員会が策定した「小中一貫教育基本方針」を受けての「小中一貫教育の推進」と、大幅な世代交代を見据えた「人材の育成」を共通目標として小中の連携を一層強化して取り組んでいく。

小樽市では、今年度末の小学校1校の閉校を区切りとし、学校再編計画の総括と見直しにかかる。予想以上の速度で進行する人口減問題に向き合い、地域社会と課題を共有した包括的な取組が重要となってくる。

今後は、小学校長会の運営のあり方、中学校長会および北海道小学校長会との連携等を会員の自己評価に基づき振り返り、会員数の減少による組織改編後の運営をよりよいものにするため、活動を一層充実させる方向性を見いだしていきたい。

II 活動の重点

1 活動方針

- ①校長として、その責務を自覚し、学校経営の充実に資する研究活動を推進し、学校経営の専門職としての職能の向上に努める。
- ②教育関係機関及び中学校長会との密接な連携を図り、教育課題を迅速・的確に把握し、総力を結集して課題解決にあたる。
- ③本市教育の喫緊の課題である学力の向上と児童の生活習慣の改善を図る取組を組織的に推進するとともに、新学習指導要領の完全実施に備えた取組を進める。
- ④中学校長会と連携し、校長会として教頭等の学校マネジメント能力を高める研修の機会を充実させ、次世代を担うスクールリーダーの育成を図る。
- ⑤関係機関との連携を密にし、想定外の災害に備えた危機管理体制の整備・充実に努める。
- ⑥「小樽市立学校における働き方改革行動計画」を踏まえ、子どもと向き合う時間を確保し、教職員の心身の健康を維持するため、効率的な学校運営をめざす取組を進める。
- ⑦会員数の減少を見据え、組織機構や業務のスリム化を図り、一層活力ある校長会組織への改変を進める。

2 重点施策

- ①中学校長会と連携した共通目標(「小中一貫教育の推進」,「人材育成」)の推進
- ②令和元年度北海道小学校長会教育研究胆振・苫小牧大会に向けた共同研究体制の構築と研究推進
- ③小樽市におけるコミュニティ・スクール導入に向けた取組の推進

- ④会員数の減少を見据えた小学校長会組織の改善
- ⑤次世代を担う教職員の資質・能力の向上と管理職人材の確保・発掘

III 各部の活動方針

1 組織部

子どもが安心して日常生活を送ることのできる安全な環境をつくるため、小・中・高校及び関係諸団体などとの連携を密にし、子どもたちの健全育成並びに教育環境の充実や学校経営の改善に資する業務推進に努める。

2 研修部

全連小及び道小の教育研究大会に関する活動や学校経営に関わる研修活動の推進を通して、校長としての一層の職能向上を図る。

3 厚生部

小樽市小学校長会の方針に基づき、学校給食及び学校保健・安全の向上を図るとともに、会員及び教職員の福利厚生の実現と親睦に努める。

IV 役員

会 長	井 村 文 俊 (奥沢小)
副 会 長	柴 田 眞 公 子 (桂岡小)
	木 村 俊 夫 (長橋小)
監 査	仲 倉 優 (花園小)
	上 泉 哲 (山の手小)
事 務 局 長	大 坂 充 (稲穂小)
事 務 局 次 長	谷 本 慎 司 (手宮中央小)
会 計	若 林 晋 (潮見台小)
組 織 部 長	銭 谷 美 毅 (桜小)
研 修 部 長	遠 藤 隆 典 (朝里小)
厚 生 部 長	打 矢 和 美 (望洋台小)